

## 計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

該当なし

(2) 固定資産の減価償却について

該当なし

(3) 引当金の計上基準について

退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 資金の範囲について

資金の範囲は、現金・預金、未収金・未払金、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載するとおりである。

2 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	110,000,000	0	0	110,000,000
合計(基本金)	110,000,000	0	0	110,000,000

3 担保財産

該当なし

4 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	19,617,738	21,315,358
未収金	0	117,939
仮払金	87,582	0
合計	19,705,320	21,433,297
未払金	6,184,333	9,309,741
預り金	992,366	1,696,956
仮受金	12,528,621	10,426,600
合計	19,705,320	21,433,297
次期繰越収支差額	0	0

5 債務保証

該当なし

6 資産及び負債の重要な科目別増加額及び減少額

(単位：円)

科 目	金 額	
1 増加の部		
(1) 資産増加額		
退職給与引当預金	12,998	
現金預金	1,697,620	
未収金	117,939	
仮払金	△ 87,582	
(2) 資産減少額	0	
増加額合計		1,740,975
2 減少の部		
(1) 資産減少額	0	
(2) 負債増加額		
預り金	704,590	
仮受金	△ 2,102,021	
未払金	3,125,408	
退職給与引当預金繰入額	12,998	
減少額合計		1,740,975
当期正味財産増加額		0